

長野高校 2 学年 SGH 通信	かかわ 五世界に繋る	金鷄ファイルに保存 第 12 号 (通算 38 号) 2016 年 9 月 8 日 (木)
------------------------	----------------------	---

◆平成 28 年度長野高校 2 学年課題研究発表会 (善光寺グローバルプレサミット) 要領

1 日時	10 月 13 日 (木) 13:10~16:20 *午前中 5 分短縮 (B 木 1, 2, 5, 6, LHR, 4, 3 時限)
2 会場	第 1 部分散会 1, 2 年 HR 教室、大会議室、視聴覚室、理科講義室、物理室 第 2 部全体会 小体育館
3 目的	・ 2 年生は 1 年次からの課題研究の成果を報告、共有し、評価を受ける。 ・ 生徒が発表会を運営することで主体性を身につける。 ・ 善光寺グローバルサミットのプレ発表会として英語による進行、発表も行う。
4 内容	第 1 部 分散会 *招待者を除いて非公開 (4 班×15 教室、発表 8 分 質疑応答 5 分) 第 2 部 全体会 *公開 (代表 2 班*各分科会の 15 班から選出。 発表 8 分 質疑応答 10 分 全体講評 10 分)
5 発表者	2 年生全員
6 参加者	1, 2 年生全員 (1 年生は分散会、全体会を通して質疑応答に参加する)
7 講師	分散会 本校教員 (各教室に 1 名ずつ) 全体会 外部講師
8 運営	SGH スタッフ生徒、SGH 係生徒

○ 連絡

- 全員対象の「課題研究個人レポートⅡ」を未提出の生徒は早急に SGH 事業推進室に提出してください。評価の対象になりますので全員必ず提出すること。
- 以下の日程で PC 室を開放します
9 月 15 日(木) テスト後～ / 16 日(金) 放課後 / 17 日(土) 土セミ終了後～15:00
その後、9 月 20 日(火)～ 昼休みに PC 室を開放します。
- 右の計画表を確認し、10 月 4 日(火)5 日(水)の総合学習⑧で行う 3 回のリハーサルまでに何をすべきか計画を確認しておくこと。パワーポイントのスライドはもちろん、発表原稿、英語原稿もすべて完成した状態で総合⑧を迎えられるように各班で準備をしていくこと。
- 班担当の先生の相談・報告を行う。
9 月 6 日 7 日の総合学習の時間内に班担当の先生に相談していない班は今週中に必ず相談・報告に伺うこと。FW と同様にアポイントを取り、発表内容、プレゼンの構成、ppt スライドなど、進行状況を班担当の先生に報告、今後の計画について相談する。(ppt スライドや原稿の資料、評価シートを持参し、評価シートは SGH 事業推進室に提出する)
- 評価について：これからの課題研究発表会、研究論文などはすべて、裏面にある“評価シート(ループリック)”に沿って評価を行います。(評価シートは総合学習の時間に各班に配付してあります)
「良い研究」とはどんな研究か…評価シートの観点で 3 点の列が良い研究の指標です。

(6) 発表会に向けて特別プレゼン指導を希望した班は全部で 18 班ありました。素晴らしい積極性です。

(ちなみに、プレゼンの発表言語の結果・・・日本語：21 班、一部英語：30 班、英語：3 班)

- 希望した班は 15 日、16 日、17 日の 3 日間中でスライドを完成させる。
- スライドが完成したら、SGH 事業推進室に連絡する。
- その場で一度プレゼンテーションを行ってもらいます。(この時点で時間は 8 分を超えても構いません。発表スライドも完ぺきでなくても構いません。完成を目指して一緒に手直しをしていきましょう。)

○今後の予定 (課題研究発表会、台湾研修まで)

回	月日	時間	項目	内容
13	9月6日(火) 7日(水)	総合学習⑦	班発表ppt作成	・ 発表言語、特別プレゼン指導希望調査 ・ ppt作成 ・ 原稿 (英語版) 作成開始 ・ ppt スライドと発表内容を班担当の先生に報告。 →評価シートを記入してもらう。
	9月8日(木)	LHR	班発表ppt作成	SGH通信の読み合わせ 今後のスケジュールの確認
	9月29日(木)	LHR	班内リハーサル	・ 班ごとにHR教室またはPC利用教室に集合し、発表リハーサルを行う。 (PCは各班1台とする。) ・ 評価シートを利用して、班発表プレゼンを評価し、修正する。 ・ 可能なら班担当の先生にプレゼン→評価シートを記入してもらう。
14	10月4日(火) 5日(水)	総合学習⑧	課題研究班発表 プレゼンリハーサル	「①班担当 ②教科担当or担任 ③他の班の生徒」を相手にリハを行う。 →評価シートに記入してもらい、コメントをもらう。
	10月6日(木)	LHR	班発表pptの修正	プレゼンリハーサルの評価を受けて、pptスライド・発表原稿の修正を行う。
15	10月11日(火) 12日(水)	総合学習⑨	発表内容修正 課題研究発表会リ ハーサル	・ pptスライド・発表原稿の手直し ・ 各会場にて通しリハーサル (動きなどプレゼンの質を高める) (原稿を見ずにプレゼンを行う) ・ 班担当の先生と最終チェック→評価シートに記入してもらう
16	10月13日(木)	午後	課題研究発表会	
17	11月1日(火) 2日(水)	総合学習⑩	台湾発表準備	個人発表用pptの作成
18	11月15日(火) 16日(水)	総合学習⑪	台湾発表準備	個人発表リハーサル
	12月28日(月)		台湾研修旅行	学校交流で個人ごとに英語でプレゼンを行う。

発表会まで総合
学習 残り 2
回!!!

～ 外部機関でのプレゼン発表 ～

課題研究発表会で作成・発表した内容を活かして、外部団体主催のコンテストや発表会に参加してみませんか？ 現在のところ下記の3つが来ています。（随時、皆さんにお知らせしていきます。）プレゼンは人前で行うほど上手くなります。また、せっかく作ったプレゼンですから多くの人にみんなの主張を知ってもらうチャンスでもあります。積極的な参加を期待します。なお、旅費等に関してはSGHから補助がでる予定です。

参加希望者(班)
はSGH事業推進
室へ!!

主催	名称	応募〆切	発表日時	場所	実施内容	備考
日本政策金融公庫	高校生ビジネスプラン・グランプリ「想像力、無限」	9月16日(金)	1月8日(日)	東京大学伊藤謝恩ホール	「人々の生活やオオの中の仕組みをよりよいものに変えるプラン」「地域課題や環境問題などの社会的な課題を解決するプラン」をプレゼンテーションする。	ビジネスプランシートは10月12日(水)までに提出すればよい
立教大学	第一回関東・甲信越静地区SGH課題研究発表会	10月5日(水)	12月17日(土)	立教大学 池袋キャンパス	SGH課題研究のプレゼンテーション(15分)、またはポスター発表	当日発表資料は12月2週目でよい
内閣府地方創成推進室	地方創成☆政策アイデアコンテスト2016	11月13日(日)	1月21日(土)	東京大学伊藤謝恩ホール	地域の現状・課題について「地域経済分析システム (RESAS:リーサス)」を用いた分析、解決策となる政策アイデアの提案	

長野高校 SGH課題研究 評価シート						
	観点	3点 (充分)	2点 (工夫の余地あり)	1点 (不十分)	得点	
課題研究論文	問い(仮説)の設定	①テーマの質	社会的に重要かつ有用なテーマを設定できている。	社会と関わりがあるテーマではあるものの、個人的な関心にとどまっている。	テーマが個人的な関心事であり、社会との関わりが見えない。	
		②研究対象の理解	2次情報により、過去の研究や知見をふまえて研究対象を多角的に理解している。	研究対象への理解がやや不足している。	研究対象(用語・内容など)の理解が不十分、あるいは一面的である。	
		③問い(仮説)の設定	課題解決のための明確かつ検証可能な問い(仮説)を設定している。	問い(仮説)が検証可能か疑わしい。	問い(仮説)があいまいであり、課題解決に結びつかない。	
	取り組	④研究方法	適切な研究方法を用いている。	研究方法について、改善の余地がある。	研究方法が不適切である。	
		⑤計画性と進め方	メンバー全員で協働して、計画的に研究を進めている。	ほぼ計画的に研究を進めている。	研究を思いつきで、あるいは単独で進めている。	
	情報の分析	⑥1次情報の収集	可能な限り1次情報を集めており、用いる情報の典拠を示している。	2次情報しか提示していない、あるいは情報の典拠が不明確である。	必要な情報が示されていない。	
		⑦データの量・質と分析	データの量と質が充分であり、正確に分析できている。	データの量と質にやや不足がある、あるいは分析が不十分である。	データの量と質が不十分であり、分析・検証ができていない。	
	論理性	⑧結論と根拠	結論や結果が根拠とともに示されており、グローバルな視点が含まれている。	結論や結果は示されているが、根拠が不明確である、あるいはグローバルな視点がない。	結論や結果が明確に示されていない。	
		⑨全体の論理的構成	因果関係が明確に表現され、多角的な視点から論理的で説得力のある主張が展開できている。	因果関係の表現が不十分であり、主張の展開に多角的な視点や説得力が欠けている。	主張がない、あるいは何故その主張になるのか分からない。	
	プレゼンテーション	表現力・応答力	⑩スライドの枚数	スライド数が適切である。	工夫の余地がある。	スライド数が多すぎる、もしくは少なすぎる。
⑪スライドの見やすさ			図やグラフを用いた見やすいスライドである。	工夫の余地がある。	図・グラフの使い方、もしくは文字の大きさ等が不適切で見づらい。	
⑫時間配分			発表内容を時間内に伝えられている。	工夫の余地がある。	時間をオーバーしたり、多く余している。	
⑬話し方			話すスピードや音量が適切で聞き取りやすい。	工夫の余地がある。	聞き取りにくい発表である。	
⑭説明態度			発表内容を十分に咀嚼し、原稿に頼ることなく、自らの言葉を効果的に用いて説明している。	原稿に頼りがちであるが、自分の言葉で説明しようとしている。	原稿を読み上げており、説明する態度に不足がある。	
⑮質疑に対する応答			質疑の内容を掌握し、簡潔に的を射た応答ができてきている。	質疑の内容掌握にやや難があり、応答に冗長さ・不足・ずれがある。	質疑の内容が把握できておらず、応答できていない。	
コメント					合計 /50	
* 5点はボーナスポイント						